

「西片町教会・九条の会」会報

「南風よ、吹け」

平和をつくり出す人たちは、さいわいである (マタイ5・9)

2018.07.01.

第49号

事務局 東京都文京区西片2-18-18 日本キリスト教団西片町教会内
TEL03-3811-3801・FAX03-3811-3985
代表者 山田貞夫 事務総括及び会計・石川雅子
編集係 荒井愛子・中村雄介 (TEL03-3813-1085)

日本国憲法

第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

文京区議会

「辺野古新基地建設の中止を国に求める」請願を採択

西片町教会・九条の会代表 山田貞夫

文京区議会は、6月21日の総務委員会で、25日の本会議で、文京9条の会連絡会が提出した「辺野古新基地建設の中止を国に求める」請願を可決しました。

請願に至る経過

昨年の11月東京で開かれた北支区とソウル老会の宣教協議会で、ソウル老会からはローソク革命の報告が、北支区からは辺野古新基地建設の現状が報告されました。北支区の報告者は、沖縄の米軍基地は縮小されなければならぬが、それができないまでも、新基地建設だけは中止させなければならぬと強く訴えました。その通りだと共感し、何かできないかと苦悶しながら思いついたのが文京区議会への請願でした。そのころ西片町教会9条の会で読んでいた翁長沖縄県知事の著書に、東京の武蔵野市議会が「辺野古新基地建設の中止」を採択したのが大きな励みになったと記されており、それがヒントになりました。

工事の見張りのため「浜テント」に詰めている現地の人たちに、請願について訊ねてみました。おおむね良好な反応を得て帰ってきました。

今年の2月24日西片町教会で、沖縄の報告と請願の是非について話し合う市民集会を開きました。参加者は24人でしたが、そこで文京9条の会連絡会の名で文京区議会に請願を提出することを決めました。

請願提出の手續き

請願事項を「沖縄の辺野古新基地建設の中止を国に求める」とし、沖縄県民の新基地建設に反対する理由、即ち、①命の海を埋め立てるな、②日本防衛の負担を沖縄だけに押し付けるな。押しつけは差別である、③強襲揚陸艦の係留護岸などの設備を備える辺野古の基地は普天間の代替ではなく、新基地の建設であるなどに賛同することを請願理由とし、また、沖縄県民の反対を無視しての新基地建設は、地方自治・民主主義の精神に反すると考え、それを理由に加えました。

請願の提出には、このような請願事項と請願理由を記した書面と紹介議員の署名が必要です。それをもらうために、平本さんの計画に基づいて行動しました。まず、会派市民の広場の田中和子議員を訪ね、区議会会派の情報を得ました。賛成してくれる会派、難しい

会派、どちらともいえない会派の情報です。それに基づき、最初に田中議員と同じ会派の浅田保雄議員を訪ね、快諾・署名をしていただきました。次に、7人を有する大きな会派未来の宮崎文雄議員を訪ね、快諾を得ました。そこには共産党の萬立幹夫議員も同席されており賛同をいただきました。賛否の判断が難しいと言われた会派永久の会の山本一仁を訪ねお願いしたところ、会派で相談するとの回答を得ましたが、後に電話で平本さんに、総務委員会のメンバーなので紹介議員にはなれないが賛成するのうれしい返事がきました。西片2丁目に住んでおられる沖縄出身で会派まちづくりの藤原美佐子議員を訪ね署名議員になっ

ていただきました。このようにして、会派市民の広場の浅田保雄議員、まちづくりの藤原美佐子議員、未来の宮崎文雄議員、共産党の関川けい子議員(萬立議員は総務委員会のメンバーなので代わって)4名の署名を得て、5月25日に提出、受理されました。

総務委員会

請願は、6月21日の総務委員会にはかられ、委員長の質疑応答の発言に反応はなく、直ちに各派委員の賛否に関する意見表明がなされました。最初に永久の会の山本一仁議員が賛成陳述を行い、次に、市民の広場の田中和子議員が賛成陳述、続いて共産党の萬立議員が賛成陳述、公明党の岡崎義頭議員が反対表明、未来が賛成、自民が反対と続きました。総務委員会は、

り、賛成5、反対3で請願は可決されました。

本会議

総務委員会を通過した請願は、25日の本会議にかけられました。本会議では一切の質疑はなく、委員会での決定事実だけが報告され、意義があるかないかだけが問われました。「異議なし」の声であり通過しました。

請願の採択と今後の課題

本会議での採決は、文京区議会の良心に基づく勇気ある決断だと評価します。同時に、改めて宿題を背負わされた感じがします。請願を提出したのは、それが可決されるかどうかではなく、あくまでも、「新基地建設の中止」が目的だからです。それについては、10月27日に開く予定の市民集会で検討します。

9条の会の立場

文京9条の会連絡会は、①差別に基づく米軍基地の沖縄への押しつけ、②沖縄県民の意志を無視した基地建設は、地方自治・民主主義に反する、この二つを請願理由としました。これに対してある会派から、戦争放棄と戦力の不保持を掲げる9条からすれば不十分であるが、「辺野古新基地建設」反対には何ら異議がないので紹介議員を引き受けると言われました。確かに沖縄県民は、9条を護るために辺野古の新基地建設に反対するとは言っていない。しかし、辺野古新基地建設反対は、最後にはそれに通じるのではないかと思われ、首脳会談に対する反応から感じて